



2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

定時株主総会開催予定日 2023年11月28日

配当支払開始予定日 2023年11月29日

有価証券報告書提出予定日 2023年11月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期の業績(2022年9月1日～2023年8月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	1,748	14.6	283	25.6	290	18.3	189	△76.3
2022年8月期	1,525	1.6	226	△27.7	245	△31.3	798	67.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	87.97	—	3.6	4.0	16.2
2022年8月期	371.40	—	16.2	3.9	14.8

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期 一百万円 2022年8月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	7,560	5,339	70.6	2,485.05
2022年8月期	6,825	5,258	77.0	2,447.08

(参考) 自己資本 2023年8月期 5,339百万円 2022年8月期 5,258百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	149	△984	442	226
2022年8月期	414	△97	140	619

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年8月期	—	20.00	—	30.00	50.00	107	13.5	2.2
2023年8月期	—	20.00	—	22.00	42.00	90	47.7	1.7
2024年8月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00		32.6	

2022年8月期期末配当の内訳 普通配当20円00銭 特別配当10円00銭

3. 2024年8月期の業績予想(2023年9月1日～2024年8月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,090	45.0	199	69.0	199	67.2	130	70.4	60.50
通期	2,180	24.7	430	51.4	440	51.7	290	53.4	134.96

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期	2,901,000 株	2022年8月期	2,901,000 株
② 期末自己株式数	2023年8月期	752,260 株	2022年8月期	752,260 株
③ 期中平均株式数	2023年8月期	2,148,740 株	2022年8月期	2,148,740 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ情勢の長期化、円安に伴う物価上昇による消費の低迷など、国内外の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、業績は厳しい状況で推移しました。賃貸・倉庫事業におきましては、2023年4月からは大型物流施設カワサキテクノプラザが本稼働し、今後の安定した収益の基盤となることを見込んでおります。また、これまで賃貸・倉庫事業に含まれておりましたホテル事業については、その運営を株式会社フラット・フィールド・オペレーションズに委託しておりましたが、2023年3月末をもって契約を終了し、4月より当社において直営にて営業を開始しております。

その結果、当事業年度の業績は売上高1,748,052千円（前年同期比14.6%の増加）、営業利益283,949千円（前年同期比25.6%の増加）、経常利益290,018千円（前年同期比18.3%の増加）、当期純利益189,020千円（前年同期比76.3%の減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第3四半期会計期間においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、継続する物価上昇による消費の落ち込み等により、売上の影響を受けております。百貨店2店舗への出店を行い、引き続き販売体制の再構築、コストダウンの推進、販売在庫品目の見直し等で収益体質の改善に向けて取り組んでまいりましたが、減収減益となりました。その結果、売上高は519,117千円（前年同期比6.0%の減少）、営業損失は32,419千円（前年同期は13,648千円の営業損失）となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、経営資源の有効活用と更なる事業拡大に取り組んでおります。2023年4月に大型物流施設カワサキテクノプラザが稼働したことにより、業績に貢献いたしました。その結果、売上高は1,126,206千円（前年同期比15.8%の増加）、営業利益は358,326千円（前年同期比49.5%の増加）となりました。

(ホテル事業)

当事業部門におきましては、ホテルレイクアルスターを2023年4月に直営化したことにより、第3四半期より報告セグメントを新設いたしました。ホテルレイクアルスターは、宿泊、宴会、レストランの3部門が営業の柱となっており、南海本線泉大津駅前という立地を生かし、地域密着で今後の収益化にむけて取り組んでおります。当面は設備更新により費用が発生するため、収益化は2025年8月期を予定しております。なお、当事業年度において、初期費用が発生した結果、売上高は102,728千円、営業損失は41,957千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて164,121千円(17.2%)減少し、788,064千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が392,709千円減少し、商品及び製品が42,803千円、未収入金が174,872千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて899,135千円(15.3%)増加し、6,772,847千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物(純額)が1,502,305千円増加し、建設仮勘定が610,642千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて4,164千円(0.9%)増加し、476,189千円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が29,570千円、前受金が36,655千円増加し、未払法人税等が77,018千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて649,265千円(59.3%)増加し、1,745,005千円となりました。この主な要因は、長期借入金が520,520千円、資産除去債務が152,032千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて81,583千円(1.6%)増加し、5,339,716千円となりました。この主な要因は、当期純利益を189,020千円計上したものの、配当による減少107,437千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローを149,315千円確保し、投資活動によるキャッシュ・フローは984,713千円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは442,653千円の収入となったこと等により、前事業年度末に比べ392,709千円減少し、226,623千円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前当期純利益288,640千円、減価償却費233,410千円、法人税等の支払額186,389千円等により、当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは149,315千円の収入(前年同期は414,243千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による948,363千円の支出、差入保証金の差入による33,923千円の支出等により、当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは984,713千円の支出(前年同期は97,090千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の借入による800,000千円の収入、長期借入金の返済による249,910千円の支出等により、当事業年度の財務活動によるキャッシュ・フローは442,653千円の収入(前年同期は140,617千円の収入)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期
自己資本比率	80.5	77.0	70.6
時価ベースの自己資本比率	51.5	42.7	37.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.3	1.5	7.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	204.7	402.2	33.7

(注) 1. 時価ベースの自己資本比率は、株式時価総額/総資産により算出しております。

2. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

3. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

4. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

5. 2020年8月期までは連結業績を開示しておりましたが、2021年8月期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年8月期以前のキャッシュ・フロー計算書を作成していないことから、キャッシュ・フロー関連指標については記載しておりません。

(4) 今後の見通し

国内経済は、経済社会活動の正常化が進み、景気が持ち直していく事が期待されておりますが、ウクライナ情勢の長期化、円安や原材料価格の高騰を背景にした企業物価、消費者物価上昇により、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、賃貸・倉庫事業において、大阪府泉北郡忠岡町および岸和田市に2023年4月に稼働した大型物流施設「カワサキテクノプラザ」が、次期(2024年8月期)より収益化いたします。また、大阪府貝塚市において2023年6月に建築着工した「カワサキ貝塚テクノプラザ」(2023年6月6日公表)も2024年1月に竣工予定であります。なお、今期直営化したホテル事業については、売上増はあるものの設備更新により費用が発生するため、収益化は2025年8月期を予定しております。

これらにより、2024年8月期の業績予想につきましては、売上高2,180,000千円(前期比24.7%増)、経常利益

440,000千円（前期比51.7%増）、当期純利益290,000千円（前期比53.4%増）を見込んでおります。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益配分と継続的な企業発展を経営の最重要課題と認識しており、株主還元、適切なレバレッジ、成長資金の確保の最適なバランスを念頭に株主還元をしていく考えであります。

なお、当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり22円とし、次期の配当金については、中間配当金22円、期末配当金22円で年間44円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	619,333	226,623
売掛金	29,072	46,401
営業未収入金	9,907	6,115
商品及び製品	175,461	218,264
原材料及び貯蔵品	32,582	30,005
前渡金	31,266	25,740
前払費用	32,691	37,481
未収入金	21,752	196,624
その他	911	1,817
貸倒引当金	△792	△1,009
流動資産合計	952,186	788,064
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,636,503	6,187,347
減価償却累計額	△2,737,526	△2,914,775
建物(純額)	1,898,976	3,272,571
構築物	232,263	380,177
減価償却累計額	△132,714	△151,917
構築物(純額)	99,549	228,259
機械及び装置	396,919	402,469
減価償却累計額	△162,460	△190,596
機械及び装置(純額)	234,458	211,872
車両運搬具	37,249	39,077
減価償却累計額	△36,381	△37,175
車両運搬具(純額)	868	1,901
工具、器具及び備品	163,602	163,871
減価償却累計額	△150,329	△153,341
工具、器具及び備品(純額)	13,273	10,529
土地	2,571,366	2,571,366
建設仮勘定	614,129	3,487
有形固定資産合計	5,432,622	6,299,988
無形固定資産		
ソフトウェア	15,269	13,154
その他	5,074	5,933
無形固定資産合計	20,344	19,088
投資その他の資産		
出資金	325	325
長期前払費用	12,436	11,538
敷金及び保証金	407,984	441,907
投資その他の資産合計	420,745	453,770
固定資産合計	5,873,712	6,772,847
資産合計	6,825,898	7,560,912

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,722	16,284
1年内返済予定の長期借入金	181,390	210,960
未払金	51,743	47,387
未払費用	36,150	36,307
未払法人税等	110,142	33,124
未払消費税等	-	9,844
前受金	79,149	115,804
預り金	4,111	2,805
賞与引当金	1,102	1,194
その他	3,514	2,475
流動負債合計	472,025	476,189
固定負債		
長期借入金	449,600	970,120
役員退職慰労引当金	8,816	6,716
受入保証金	237,772	226,336
資産除去債務	223,439	375,472
繰延税金負債	169,583	159,832
その他	6,528	6,528
固定負債合計	1,095,740	1,745,005
負債合計	1,567,765	2,221,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金		
資本準備金	465,937	465,937
その他資本剰余金	560,000	560,000
資本剰余金合計	1,025,937	1,025,937
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,450,000	2,450,000
固定資産圧縮積立金	519,848	509,538
繰越利益剰余金	1,708,264	1,800,157
利益剰余金合計	4,703,112	4,784,696
自己株式	△475,216	△475,216
株主資本合計	5,258,133	5,339,716
純資産合計	5,258,133	5,339,716
負債純資産合計	6,825,898	7,560,912

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高		
製品売上高	552,414	519,117
賃貸事業収入	972,731	1,126,206
ホテル売上高	-	102,728
売上高合計	1,525,146	1,748,052
売上原価		
製品売上原価	311,267	300,867
賃貸事業原価	614,358	622,317
ホテル売上原価	-	113,266
売上原価合計	925,625	1,036,450
売上総利益	599,520	711,601
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	23,520	20,711
役員報酬	34,280	33,900
給料及び賞与	156,140	192,749
貸倒引当金繰入額	235	216
賞与引当金繰入額	1,102	5,389
退職給付費用	2,162	1,686
役員退職慰労引当金繰入額	2,900	3,100
法定福利費	24,828	29,072
賃借料	23,545	24,607
減価償却費	20,226	13,233
その他	84,531	102,985
販売費及び一般管理費合計	373,473	427,652
営業利益	226,047	283,949
営業外収益		
受取利息	2	1
受取手数料	5,016	1,843
補助金収入	11,954	5,172
受取家賃	1,200	1,680
その他	2,440	2,621
営業外収益合計	20,613	11,317
営業外費用		
支払利息	1,030	4,634
為替差損	406	614
その他	0	-
営業外費用合計	1,437	5,248
経常利益	245,224	290,018

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	905,176	-
圧縮未決算特別勘定戻入額	69,547	-
特別利益合計	974,724	-
特別損失		
固定資産売却損	-	1,285
固定資産除却損	3,175	91
特別損失合計	3,175	1,377
税引前当期純利益	1,216,773	288,640
法人税、住民税及び事業税	155,982	109,371
法人税等調整額	262,746	△9,751
法人税等合計	418,729	99,620
当期純利益	798,044	189,020

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
						別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	—	1,553,620	4,028,620
当期変動額									
固定資産圧縮積立金の積立							521,563	△521,563	—
固定資産圧縮積立金の取崩							△1,715	1,715	—
剰余金の配当								△123,552	△123,552
当期純利益								798,044	798,044
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	519,848	154,643	674,491
当期末残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	519,848	1,708,264	4,703,112

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△475,216	4,583,641	4,583,641
当期変動額			
固定資産圧縮積立金の積立		—	—
固定資産圧縮積立金の取崩		—	—
剰余金の配当		△123,552	△123,552
当期純利益		798,044	798,044
当期変動額合計	—	674,491	674,491
当期末残高	△475,216	5,258,133	5,258,133

当事業年度(自2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	固定資産圧 縮積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	519,848	1,708,264	4,703,112
当期変動額									
固定資産圧縮積立金の取崩							△10,309	10,309	—
剰余金の配当								△107,437	△107,437
当期純利益								189,020	189,020
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△10,309	91,893	81,583
当期末残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	509,538	1,800,157	4,784,696

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△475,216	5,258,133	5,258,133
当期変動額			
固定資産圧縮積立金の取崩		—	—
剰余金の配当		△107,437	△107,437
当期純利益		189,020	189,020
当期変動額合計	—	81,583	81,583
当期末残高	△475,216	5,339,716	5,339,716

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,216,773	288,640
減価償却費	227,962	233,410
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	235	216
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△686	91
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,700	△2,100
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	1,030	4,634
固定資産除却損	3,175	91
為替差損益 (△は益)	△57	△35
固定資産売却損益 (△は益)	△905,176	1,285
圧縮未決算特別勘定戻入額	△69,547	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△875	△13,537
棚卸資産の増減額 (△は増加)	62,115	△40,226
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,428	11,562
その他	△35,190	△143,896
小計	497,481	340,137
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△1,030	△4,433
法人税等の支払額	△82,210	△186,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	414,243	149,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△857,820	△948,363
有形固定資産の売却による収入	1,042,678	227
無形固定資産の取得による支出	-	△2,654
差入保証金の差入による支出	△267,557	△33,923
その他	△14,391	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,090	△984,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△235,850	△249,910
配当金の支払額	△123,532	△107,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	140,617	442,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	457,829	△392,709
現金及び現金同等物の期首残高	161,504	619,333
現金及び現金同等物の期末残高	619,333	226,623

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、財務情報に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

従って、当社は事業の種類に基づき、「服飾事業」、「賃貸・倉庫事業」、「ホテル事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品

賃貸・倉庫事業……不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業、太陽光発電事業

ホテル事業……………ホテルレイクアルスターでの宿泊、宴会、レストラン営業

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	552,414	972,731	1,525,146	-	1,525,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	552,414	972,731	1,525,146	-	1,525,146
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	△13,648	239,695	226,047	-	226,047
セグメント資産	1,046,971	5,480,820	6,527,791	298,107	6,825,898
その他の項目					
減価償却費	9,648	208,495	218,143	9,818	227,962
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	16,793	855,418	872,211	-	872,211

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(2)減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

当事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	ホテル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	519,117	1,126,206	102,728	1,748,052	-	1,748,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	519,117	1,126,206	102,728	1,748,052	-	1,748,052
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	△32,419	358,326	△41,957	283,949	-	283,949
セグメント資産	448,826	6,208,793	117,764	6,775,384	785,527	7,560,912
その他の項目						
減価償却費	6,668	212,972	6,475	226,116	7,293	233,410
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,744	1,092,575	4,978	1,099,297	1,827	1,101,125

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(2)減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

4. セグメントに関する事項

前事業年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当事業年度においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

(関連情報)

前事業年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
司企業(株)	186,438	賃貸・倉庫事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	2,447.08円	2,485.05円
1株当たり当期純利益金額	371.40円	87.97円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	798,044	189,020
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	798,044	189,020
普通株式の期中平均株式数(株)	2,148,740	2,148,740

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,258,133	5,339,716
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,258,133	5,339,716
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,148,740	2,148,740

(重要な後発事象)

該当事項はありません。